

トムス
ハイパー
コンプレッサーキット
マジェスタ（UZS186）用

13600 - TUS87

取り付け / 取り扱い説明書

- ◆ お取り付け及びご使用前に必ず本書をよくお読みください。
- ◆ 本書は大切に保管し、本製品を譲渡する場合は必ず本書も譲渡してください
- ◆ 販売店殿 本商品お渡しの際、保証書およびユーザー登録ハガキに販売店印の押印、装着時走行距離および購入日を記入してください。押印および記入がない場合は保証対象外となりますのでよろしくお願ひします
- ◆ ユーザー登録ハガキは必ずご返送ください。ご返送ない場合は保証対象外となる場合があります

目次

【1】	事前に準備いただくもの	1
【2】	はじめに	2
【3】	適応車種	2
【4】	ご使用時の注意事項	2
【5】	エンジンECUについて	2
【6】	保証について	3
【7】	構成部品表	4
【8】	構成部品図	5
【9】	取り付け	7

【1】事前に準備いただくもの

作業を開始する前に以下のものを事前に準備してください。

注文は全国のトヨタ部品共販となります。

部品

インテークマニホールドツーフヘッドガスケット(トヨタ純正)	17171-50020	2個
パルセーションダンパーホースガスケット(トヨタ純正)	23232-41081	2個
パルセーションダンパーホースガスケット(トヨタ純正)	90430-12026	2個
スロットルボディガスケット(トヨタ純正)	22271-50042	1個
インジェクターOリング(トヨタ純正)	90301-07024	8個
インジェクターOリング(トヨタ純正)	90301-07037	8個

工具(必要に応じて準備する)

ユニオンナットレンチ 09023-38400

【2】はじめに

このたびは、トムスハイパーコンプレッサーキット（マジェスタ - UZS186用）をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。本製品の取り付けを以下に記します。正しい取り付けをお願いいたします。本取り付け説明書は、「自動車整備技能検定3級合格者」程度の方を対象に記述してあります。用語等で不明な点は、整備解説書等をご参照ください。なお、取り付け等に関するお問い合わせは、当社技術までお問い合わせください。本製品の内容及び付属品は、改良のため予告無く変更することがございますのでご了承ください。本取り付け説明書は各車両の脱着分解図を掲載してあります。更に詳しい内容については、各車両の修理書を参照して下さい。

【3】適応車種

本製品は以下の車種に対応しています。（H19年4月現在）

マジェスタ（UZS186） H16年（2004）7月～H18年（2006）7月

【4】ご使用時の注意事項

以下の注意事項を守らない場合、エンジンの破損に伴う事故となる場合がありますので十分ご注意ください

- 1, 本製品を装着すると、エンジンの燃焼効率が改善され、エンジンの性能が向上いたします。ブレーキの性能を確認し、十分な制動力を確保して走行してください。
- 2, エンジンの過回転（回転計の「レッドゾーン」以上の使用）はエンジン破損につながります
- 3, 装着後、エンジンチェックランプが点灯したり、エンジンに著しい異常（振動、異音、黒煙の排出等）を感じた場合はただちに使用を中止し販売店等に連絡してください
- 4, 取り付け後、数キロ走行した後に、ボルトの緩みやベルトの干渉、ガソリン、冷却水の漏れ等をチェックしてください。
- 5, **ガソリンは必ず「無鉛ハイオク」をご使用ください。レギュラーガソリンや粗悪ガソリンを使用するとノッキングをおこしエンジンが破損する場合があります。**
- 6, エンジンオイル・オートマチックトランスミッションオイルは通常よりこまめに交換してください
推奨交換時期 エンジンオイル5000KmごとATFオイル20,000Kmごと
- 7, Vベルトは亀裂、ゆるみ、部品との干渉などをこまめに点検してください。

【5】エンジンECUについて

1. 車両に装着されている純正ECUに下記の送付用紙をコピー添付して弊社に発送してください。その際、純正ECUに装着されている**取り付けブラケットを必ず外し**お客様にて管理してください。
2. 純正ECUをTECに変更の際、弊社に純正ECU到着後、1週間程度車両が動かせなくなる旨、ご了承下さい。
3. お客様より弊社に送付される際の運賃はお客様にてご負担ください。

TOM'S T.E.C. 送付用紙 for HYPER COMPRESSOR KIT			
お客様お名前		TEL	直送先 (印 必 ず 記 入)
住所(お客様用)			
ご担当販売店名 ご担当者		TEL FAX	
住所			
共販・代理店 ご担当者		TEL FAX	
住所			

送付先 〒158-0082 東京都世田谷区等々力6-13-10 (株)トムス 営業部宛
TEL03-3704-6191 / FAX03-3704-9486

【6】保証について

本製品について製造上の不具合が発生した場合、下記の期間と条件に従ってこれを無償修理(保証修理)いたします。保証修理は部品の交換または補修により行います(製品の返品等はお受けいたしません)。また、取り外した不具合部品は(株)トムスの所有となります。

[1] 保証期間

➤ 保証修理の対象期間は以下の通りです

製品お買いあげ後1年間。但し期間内であっても装着後走行距離20,000Kmまで

[2] 保証の受け方

保証を受ける場合は、販売店に車両を持ち込み、保証書を提示の上保証修理をお申し付けください。原則として不具合部位を取り外し、(株)トムス宛ご返却いただき、調査後トムスにて現品を修理もしくは交換しご返却いたします。

[3] 保証をしない事項

➤ 上記保証期間内であっても、下記の場合は保証の対象外となります

- 1, 本書に添付されている保証書に販売店押印、装着時走行距離および購入日の記載のない場合、または字句を書き換えられた場合
- 2, 保証書の提示がない場合
- 3, 使用損耗あるいは経年変化による劣化など、製造上の不具合と認められない場合
- 4, 登録後4年を経過した車両または走行距離が50,000Kmを超えるエンジンに装着した場合
- 5, 輸送中の不具合
- 6, レース・ラリー等通常の使用状態と異なる使用方法による破損・不具合
- 7, 指定のガソリン(無鉛ハイオク)以外のガソリンおよび粗悪ガソリン等の使用による不具合
- 8, エンジンオイル・ATFオイルのメンテナンス不良に起因する不具合
(推奨メンテナンス; エンジンオイル5,000Kmごと、ATFオイル20,000Kmごと交換)
- 9, 地震、台風、水害等の天災並びに事故、火災によるもの。また薬品、融雪剤、塩害、飛石等の外部要因によるもの
- 10, 消耗品(Vベルト、ゴムホース類、ガスケット等)の破損・不具合
- 11, 本書に指示のある調整以外の調整をおこなった場合(例、規定以上にブーストを上げた場合など)、また、純正およびトムス指定以外の吸排気系部品や電子部品の装着によるもの
- 12, 取り付け作業時や分解時のまちがい、不備
- 13, 機能上影響ない「感覚的現象」および本製品特有の現象
 - 1) コンプレッサーの過給音等(過給時キーン音、クラッチ断続時のカチャッ音など)
 - 2) 機能上差し支えないオイルにじみ
 - 3) 本製品が主原因でない振動・ハーシュネス

[4] 保証対象外費用

➤ 以下に示すものの費用は負担いたしません

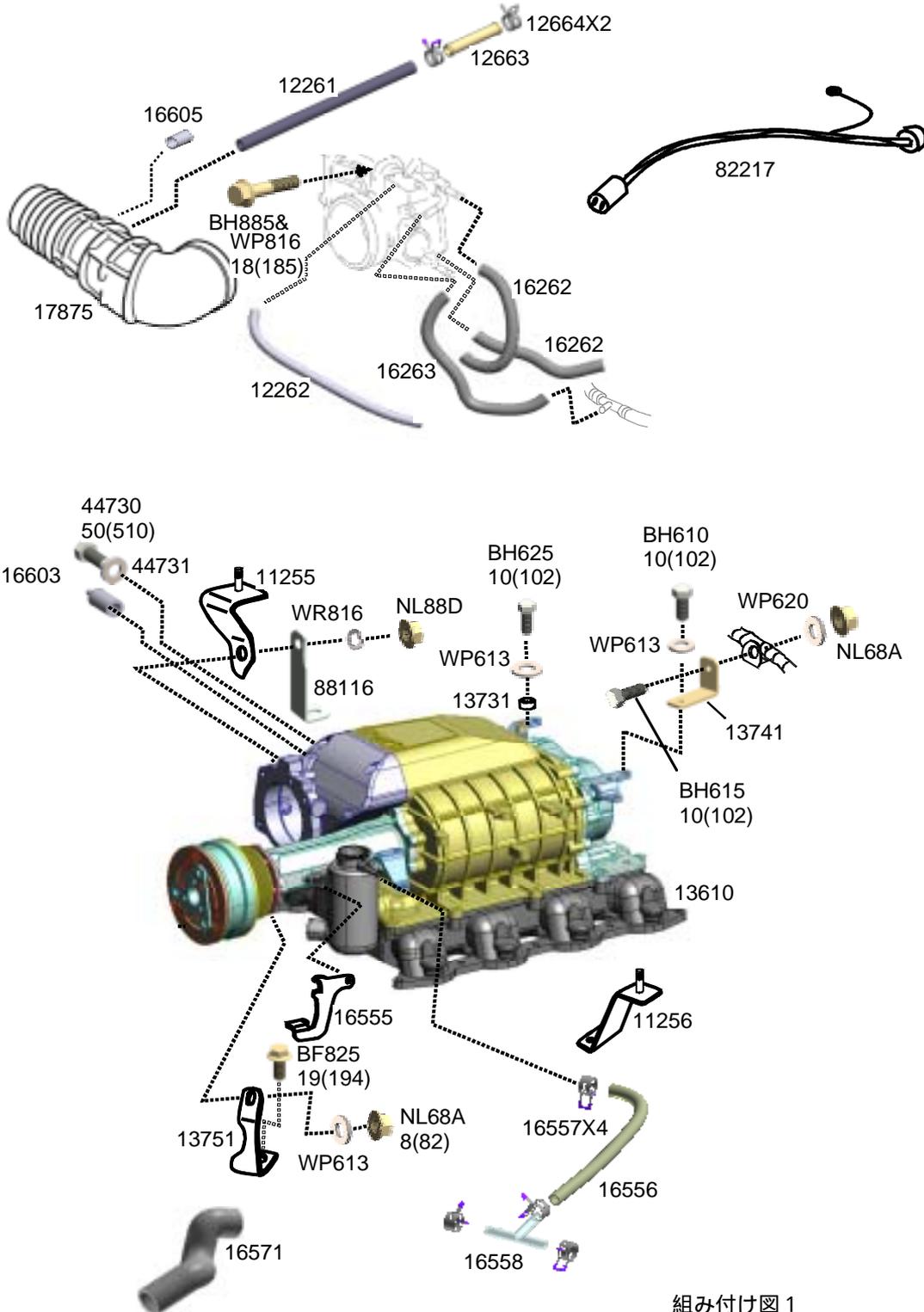
- 1, 自動車を使用できなかったことによる不便さおよび損失等(電話代、レンタカー代、宿泊費、休業補償、営業損失等)
- 2, 脱着工賃

【 7 】 構成部品表

16263	16263	T3UZ0	ウォーターバイパスホースNo.3(380mm)	1
16290	16290	T3UZ0	ウォーターポンプ	2
16291	16291	T3UZ0	ウォーターポンプステー	1
16292	16292	T3UZ0	ウォーターポンプクランプバンド	2
16296	16296	T3UZ0	クッション, ウォーターポンプ	1
16361	16361	T3UZ0	Vリブドベルト	1
16510	16510	T3UZ0	インタークーラーラジエターASSY	1
16511	16511	T3UZ0	インタークーラーラジエータートレ	1
16512	16512	TUS86	インタークーラーラジエーターステー(UZS186)	1
16513	16513	TUF30	トレークリップ	2
16515	16515	T3UZ0	トレークッション	2
16519	16519	T3UZ0	プロテクターモール	1
16551	16551	T3UZ0	ポンプtoラジエターホースNo.1	1
16552	16552	T3UZ0	ポンプtoラジエターホースNo.2	1
16553	16553	T3UZ1	インタークーラーインレットホースNo.1(UZS186)	1
16553	16553	T3UZ2	インタークーラーインレットホースNo.2(UZS186)	1
16554	16554	T3UZ1	インタークーラーアウトレットホース(UZS186)	1
16555	16555	T3UZ0	ウォーターバイパスホースガイド	1
16556	16556	T3UZ0	リザーブタンクホース	1
16557	16557	T3UZ0	リザーブタンクホースバンド	4
16558	16558	T3UZ0	リザーブタンク用3ウェイ	1
16561	16561	T3UZ0	インタークーラーホースガイド	1
16571	16571	T3UZ1	ラジエターアッパーホース(UZS186)	1
16572	16572	T3UZ0	アウトレットホースバンド	2
16573	16573	T3UZ0	インレットホースバンド	8
16603	16603	T3UZ0	メクラプラグ,PSTアイドル用	1
16604	16604	T3UZ0	アイドルブーリー	1
16605	16605	T3UZ0	メクラプラグ,PSTアイドル用 8	1
16607	16607	T3UZ0	ブーリーブラケット	1
17875	17875	T3UZ1	エアインレットホース	1
44730	44730	T3UZ0	ブースターユニオンメクラプラグ	1
44731	44731	T3UZ0	シールワッシャー	1
82216	82216	T3UZ0	ウォーターポンプハーネス	1
82217	82217	T3UZ0	マグネットクラッチハーネス	1
88116	88116	T3UZ0	ブラケット, エンジンハーネス	1
89600	89600	TUS86	エンジンECU(TEC)	1
90464	90464	00410	ホースクランプ	2
BC615	J1176	26151	スプリングワッシャー付ボルトM6X15	4
BF620	J1189	06201	フランジ付六角ボルトM6*20	1
BF825	J1189	08251	フランジ付六角ボルトM8*25	1
BH610	J1180	06101	六角ボルト M6X1.0X10	1
BH615	J1180	26152	スプリングワッシャー付六角ボルト M6X1.0X15	1
BH625	J1180	26252	スプリングワッシャー付六角ボルト M6X1.0X25	1
BH885	J1180	08851	六角ボルトM8X85	1
BHA90	J1180	0A901	六角ボルト M10X90	2
NL68A	J1181	16800	ロックナット M6X1.0	3
NL88D	J1181	188D1	ロックナット M8X1.25	1
WP613	J1256	06132	平ワッシャーM6	4
WP620	J1256	26201	大径ワッシャー	1
WP816	J1256	08161	平ワッシャー M8	1
WPA21	J1256	2A210	平ワッシャーM10	2
WR816	J1251	08162	スプリングワッシャーM8	1
Z0010	Z0010	SP001	Vリブドベルトラベル・フェルコーションラベル	1

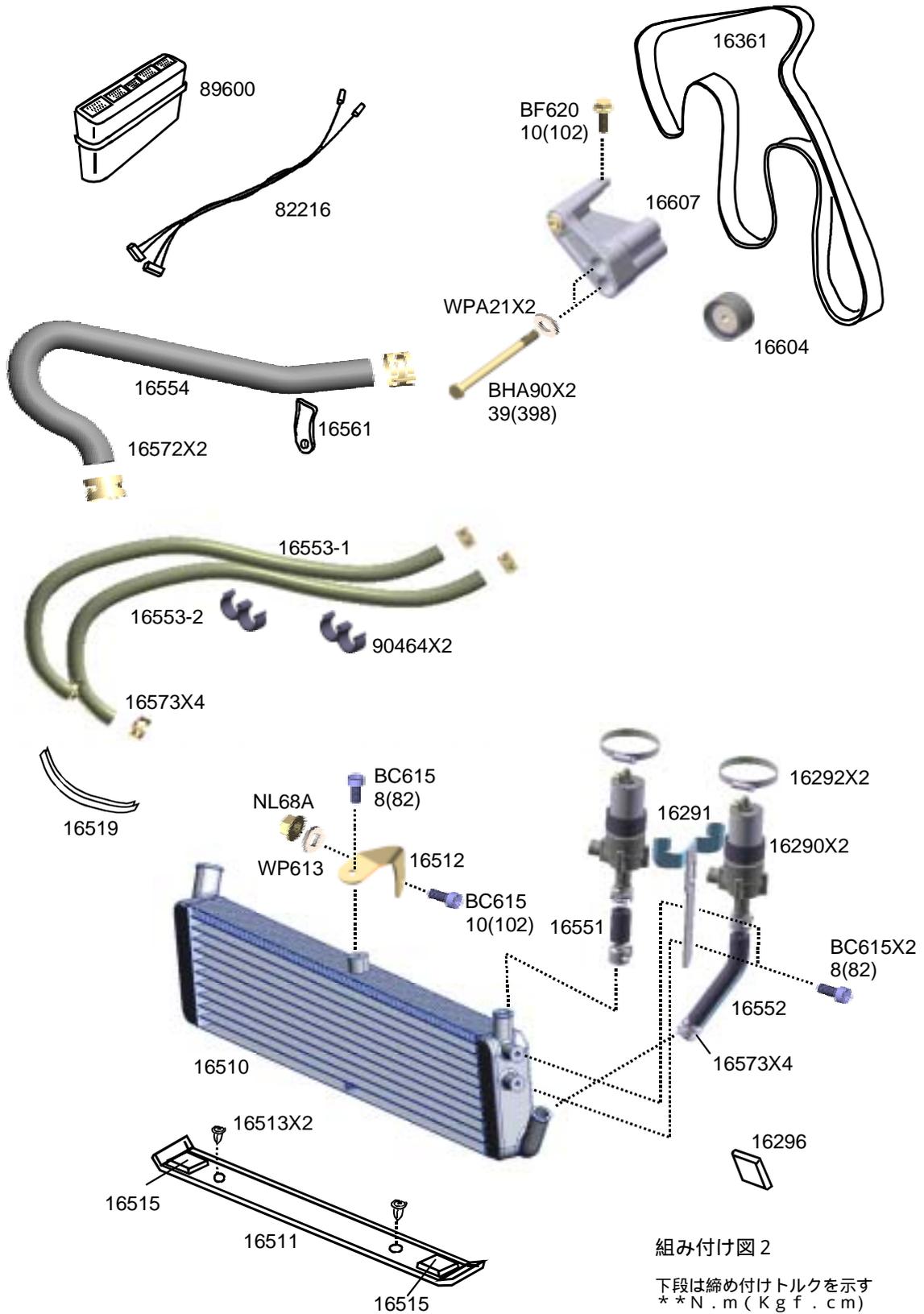
【 8 】 構成部品図

→ 構成部品表のイラスト番号と対応しています。



組み付け図 1

下段は締め付けトルクを示す
 ** N . m (K g f . c m)

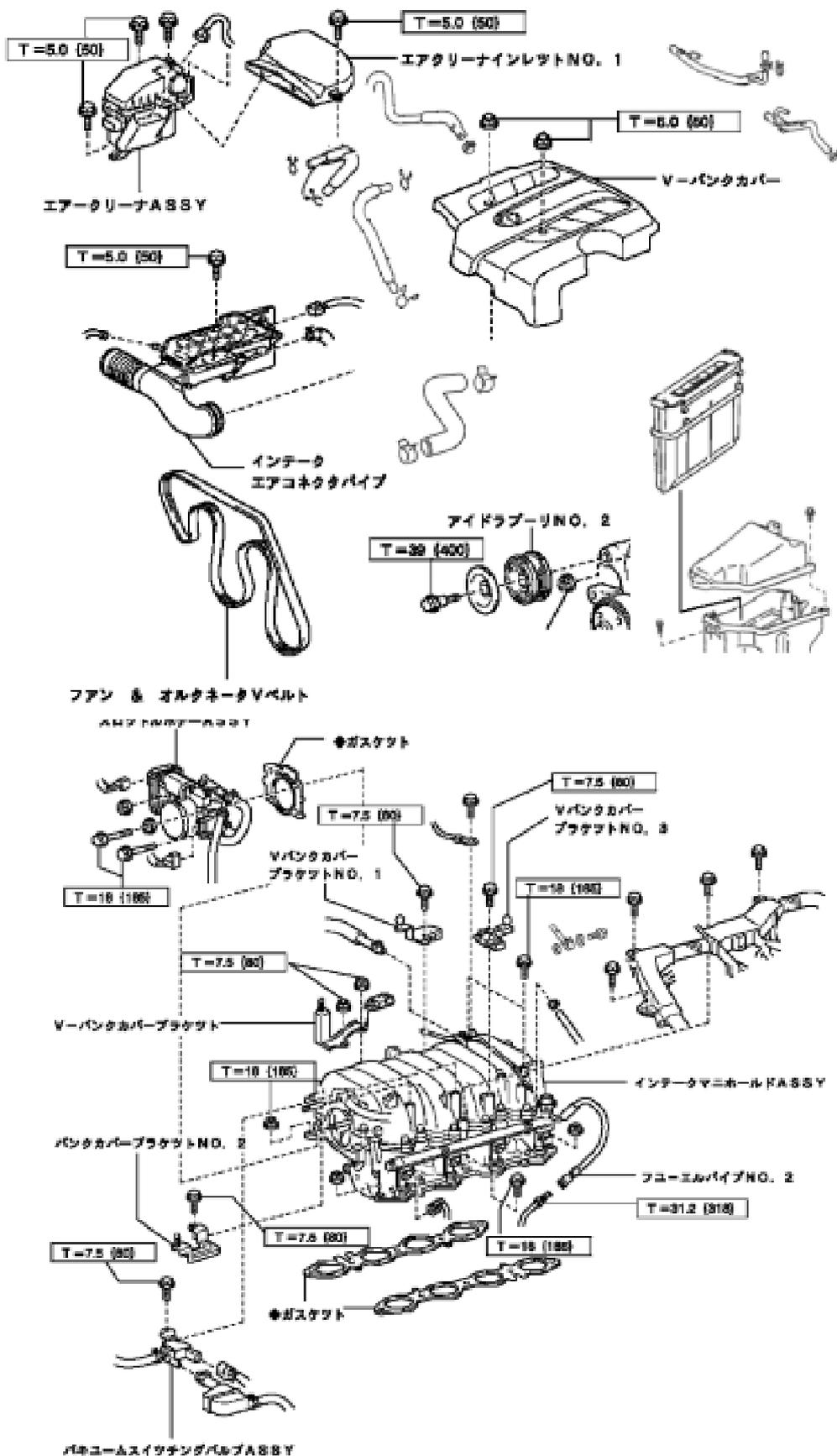


組み付け図 2

下段は締め付けトルクを示す
 * * N . m (K g f . c m)

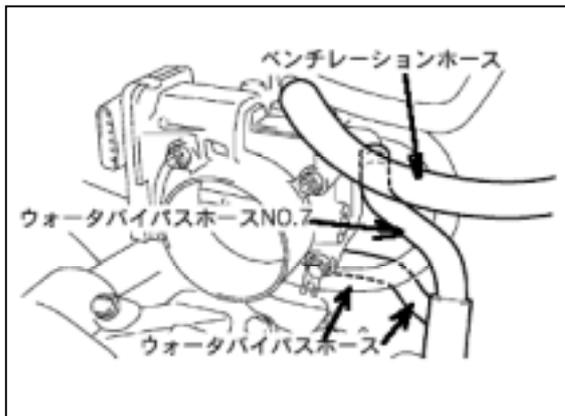
【 9 】 取り付け

[1] 純正部品はずし



脱着部品図を参照して以下の部品をはずす

- 1, エンジン ECU はずし
- 2, Vバンクカバー、Vバンクカバーブラケット、サイドカバーはずし
- 3, エアクリーナーインレットNo.1、エアクリーナーボックス、インテークエアパイプはずし
- 4, 冷却水抜き取り
- 5, ラジエターアップパーホースはずし
- 6, ヒーターホース/パイプをマニホールドから切り離し
- 7, ブローバイホースR/Lはずし
- 8, キャニスターホース切り離し(エンジン側をきりはなす)
- 9, エンジンワイヤーハーネスずらし
 - 1) インジェクターコネクタをはずす
 - 2) スロットルセンサーコネクタをはずす
 - 3) その他エンジンワイヤーハーネスを外側にずらすために必要なコネクタをはずす
 - 4) エンジンワイヤーハーネスクランプをはずし、ワイヤーハーネスをできる限りマニホールドからはなす
 - ひもなどで外側に寄せて固定しておくといよい



10, スロットルボディウォーターバイパスホース3本はずし

- 1) ベンチレーションホース、ウォーターバイパスホースおよびウォーターバイパスホースNo.7をスロットルボディから切り離す

→ホースは再使用しない。クリップは再使用する

11, スロットルボディASSYはずし

- 1) ナット2個およびボルト2本をはずし、スロットルボディをはずす

12, フエルライン切り離し

- 1) フエルタンクのキャップをはずし、フエルタンクの圧力を抜く
- 2) EFI フューエルパイプクランプNo.1をはずす
- 3) フューエルコネクタのかん合をはずし、フューエルホースを切り離す

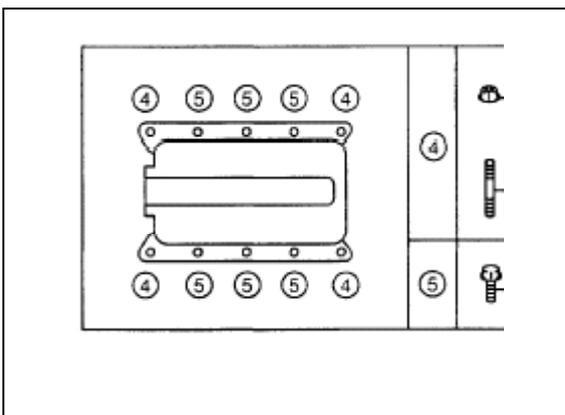
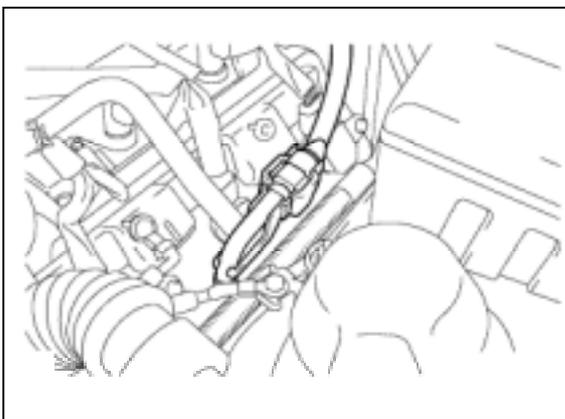
⇒ **フューエルチューブが固着して切り離せない場合は工具を使用せず、クイックコネクタ部をつまんだ状態で押したり引いたりして接続を切り離す**

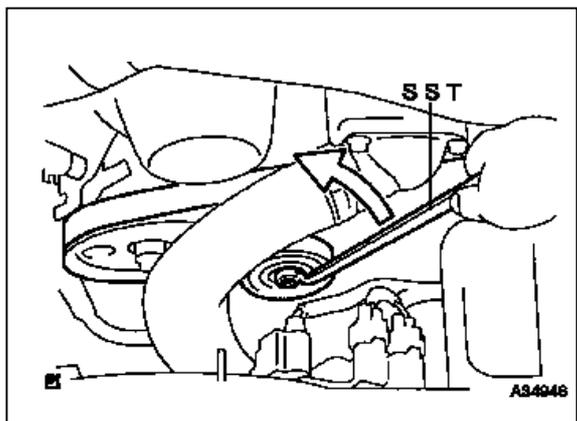
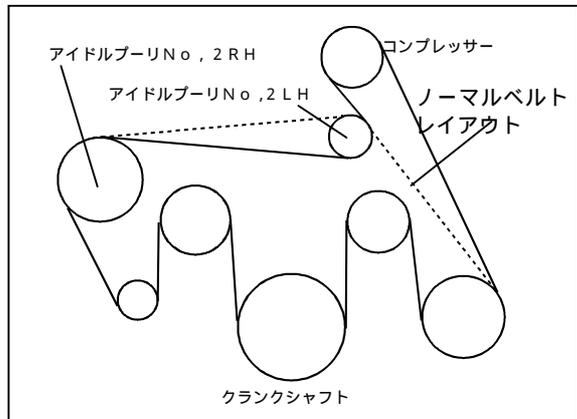
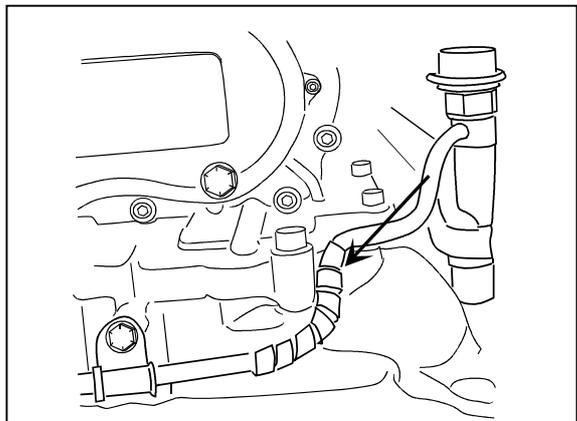
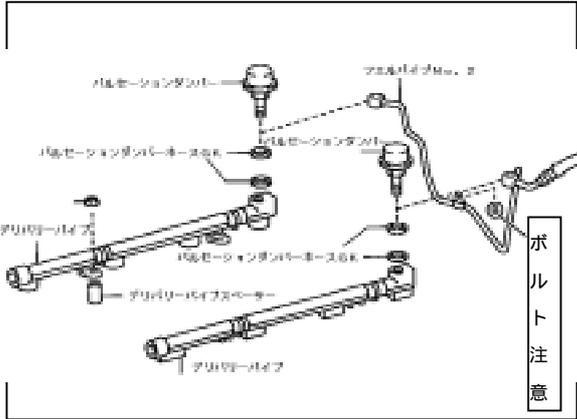
→異物が混入しないようにフューエルコネクタおよびパイプ接続部をビニール袋で保護する

⇒ **ガソリンの流出に十分注意する**

13, インテークマニホールドAYはずし

- 1) ボルト6本ナット4個をはずし、インテークマニホールドASSYをフエルパイプ、デリバリーパイプ、インジェクターと共にはずす



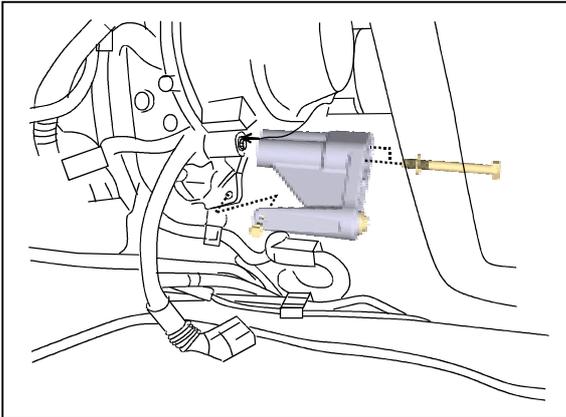


[2] インジェクター , デリバリパイプ付け替え

- 1, インジェクター、パイプはずし
 - 1) インテークマニホールドからデリバリパイプ、バルセーションダンパー、フエルパイプ No. 2、デリバリパイプスペーサーおよびインジェクターをはずす
 - ⇒ **パイプのボルトに注意する**
→バルセーションダンパー左右をはずし、インジェクターとパイプは一体ではずすとよい
 - ⇒ **はずす前にインジェクターが回転することを確認する**
- 2, インジェクター、パイプ取り付け
 - 1) 純正デリバリパイプスペーサー 4 個をコンプレッサーのスタッドボルトに取り付ける
 - 2) フエルホース No. 2 とコンプレッサーが干渉する位置にインシュレーターをずらして巻き付ける
 - 3) はずした手順と逆の手順で取り付ける
 - ⇒ **バルセーションダンパー締付トルク 39N.m(398Kgf.cm)**
 - ⇒ **デリバリパイプナット締付トルク 18N.m(184Kgf.cm)**
 - ⇒ **バルセーションダンパーガスケットは新品に交換する (90430-12026 4 個)**
 - ⇒ **インジェクターが回転することを確認する。滑らかに回転しない場合は、Oリングのかみ込みが考えられるため、インジェクターを取りはずして再度Oリング(90301-07024)を新品に取り替えて作業を行う。**
 - ⇒ **ガソリン漏れの原因となるためフエルパイプを無理に曲げないこと**

[3] Vベルト取り付け

- 1, Vベルトはずし
 - 1) テンショナーのプリーセットボルトにレンチをかけ、テンショナーを左に回転させて張力をゆるめ、ベルトをはずす
 - ⇒ **プリーセットボルトは左ねじを使用しているため右回転させるとプリーセットボルトがゆるむ**
- 2, アイドラプリー No. 2 (LH) 交換
 - 1) アイドラプリー No. 2 (LH) を 16604 アイドルプリーに交換する
 - ⇒ **締付けトルク 39N.m(398Kgf.cm)**
 - ⇒ **プリーカバー (ワッシャー) は使用しない**
→ ボルトは再使用する



3, アイドルプーリ No. 2 (RH) ブラケット交換

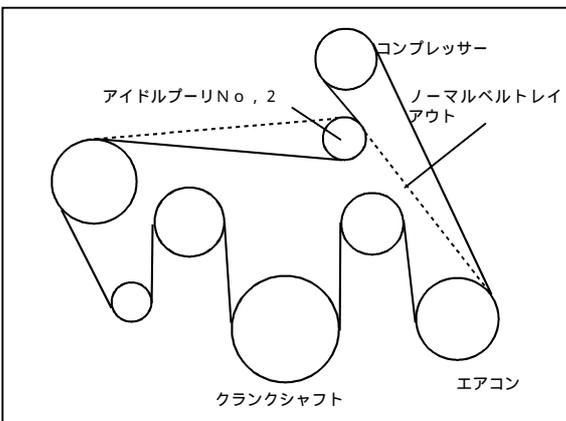
- 1) アイドルプーリ No. 2 (RH) をはずす
- 2) ボルト 2 本をはずしアイドルプーリブラケットをはずす
- 3) 16607 プーリーブラケットを BHA90 ボルト 2 本と WPA21 ワッシャー 2 個および BF620 ボルト 1 本を使用して取り付ける

⇒ 締付トルク **M10 ボルト 39N.m(398Kgf.cm)**

⇒ 締付トルク **M6 ボルト 10N.m(102Kgf.cm)**

- 4) 1)でははずしたアイドルプーリを純正ボルト、ワッシャーを再使用して取り付ける

⇒ 締付けトルク **39N.m(398Kgf.cm)**



4, Vベルト交換

- 1) Vベルトを交換する左図の実線のように取り付ける

→ ベルトは仮に取り付ける

[4] コンプレッサー取り付け

1, コンプレッサー取り付け

- 1) コンプレッサー取り付けの前に、16262 ウォーターバイパスホース No. 2 (320mm) をウォーターバイパスジョイント側 (エンジン側) に取り付けておく (純正バンド再使用)

→ コンプレッサー装着後は作業性が悪い

- 2) ウォーターインレットハウジングのボルト 1 本をはずしておく (左図参照)

- 3) マニホールドガスケットを交換する (純正) 17171-50020 2 個

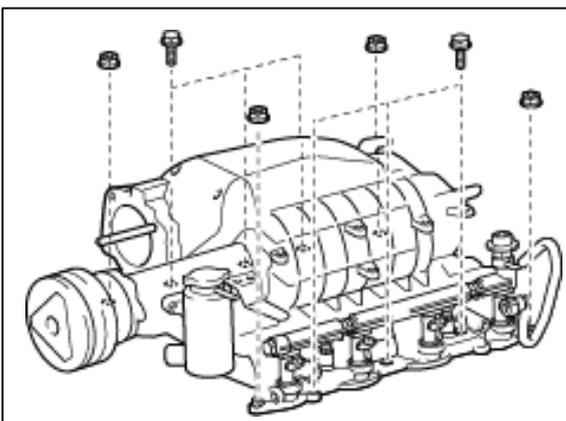
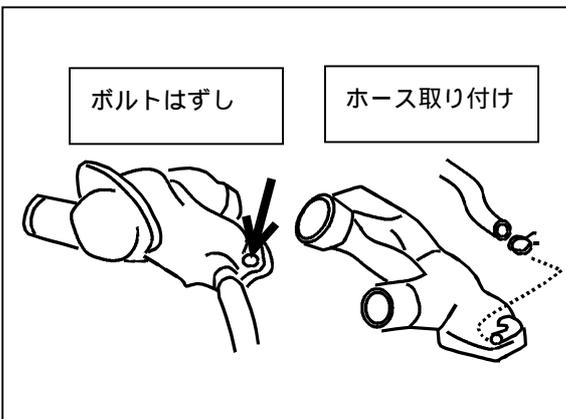
⇒ **白ペイント側を上向きにする**

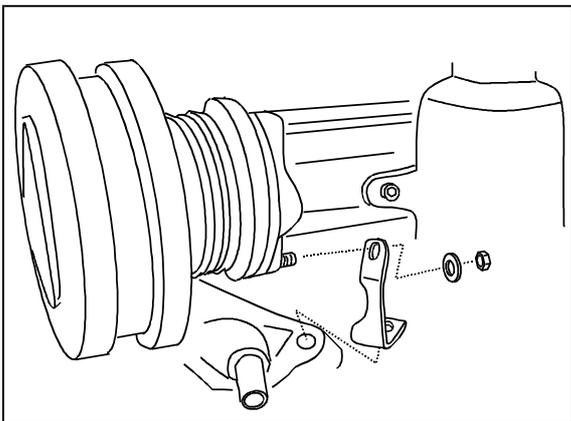
- 4) はずしたインテークマニホールド用ボルト 6 本およびナット 4 個を使用してコンプレッサーを取り付ける

⇒ **コンプレッサーを垂直に均等に入れること。エンジンヘッドに確実に接地していることを確認してボルトナットを取り付ける**

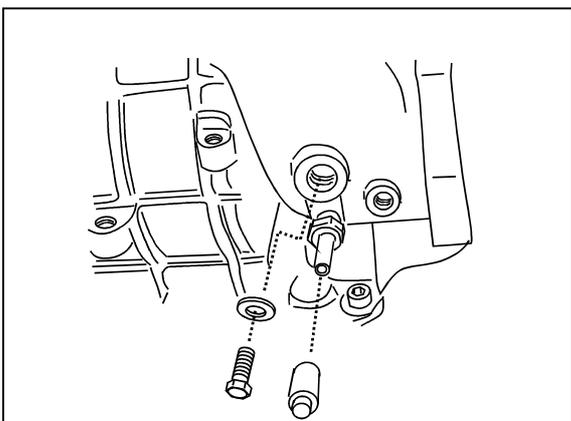
⇒ 締付けトルク **18N-m(184Kgf.cm)**

⇒ **フェルラインをハーネスの間を通すこと**

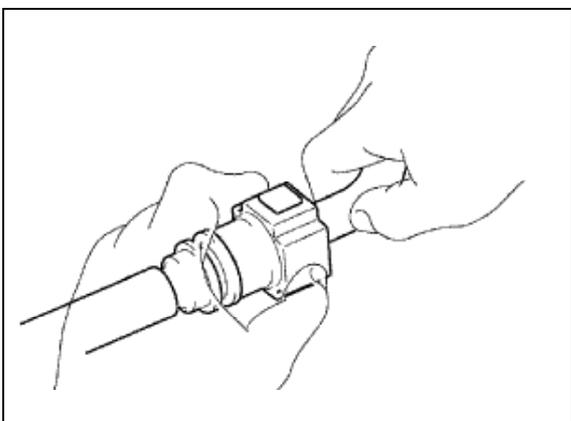




- 5) BF825 ボルトと、WP613 ワッシャー、NL68A ロックナットで 13751 ノーズステーを取り付ける (左図参照)
- ⇒ **ロックナット締付けトルク 8N.m(82Kgf.cm)**
- ⇒ **ハウジング締付けトルク 19N.m(194Kgf.cm)**

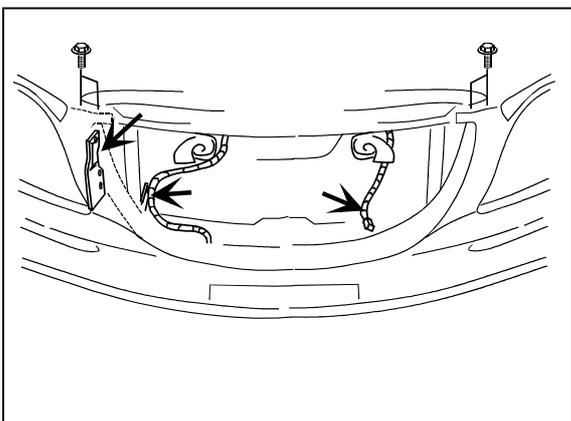


- 6) Vベルトを取り付ける
→テンショナーを押下げてベルトを取り付ける
- ⇒ **プリーセットボルトは左ねじを使用しているため右回転させるとプリーセットボルトがゆるむ**
- ⇒ **ベルトと近いエンジンハーネスをタイラップでベルトから離れるように取り付ける**
- 7) コンプレッサー本体 R H 側のネジ部に 44730 ブースターユニオンメクラプラグと 44731 ワッシャーを取り付ける
- ⇒ **締付けトルク 35N.m(355Kgf.cm)**
- 8) 16603 メクラプラグ PST アイドルアップ用をパイプに取り付ける
- ⇒ **プラグが抜けないよう十分差し込む**



2, フューエルパイプ No. 2 接続

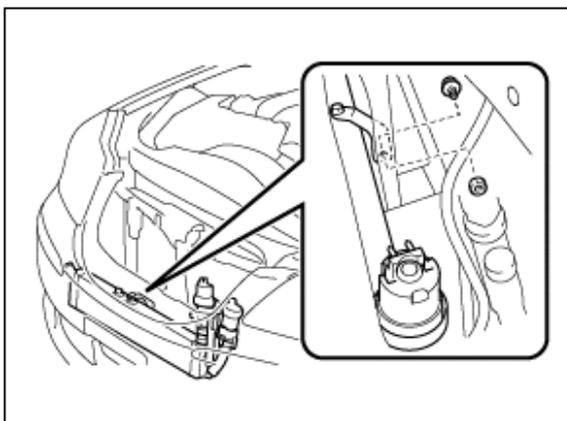
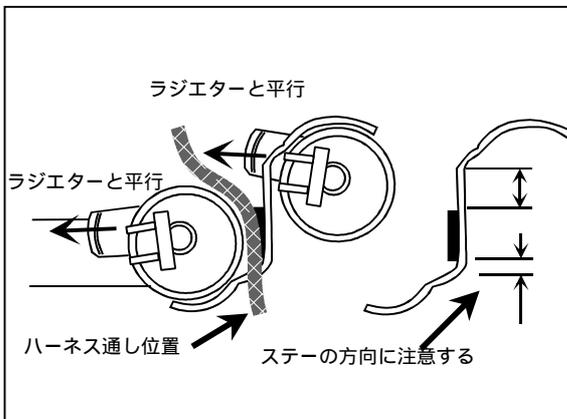
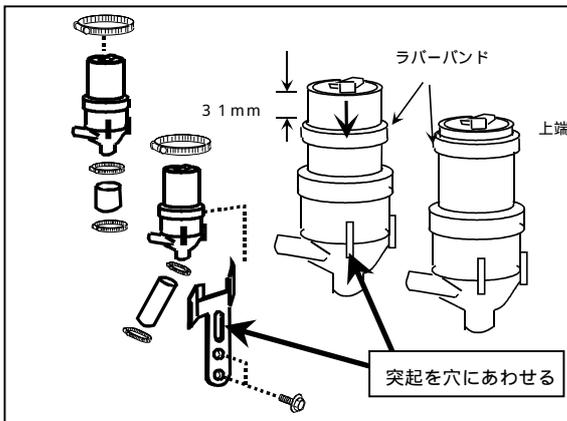
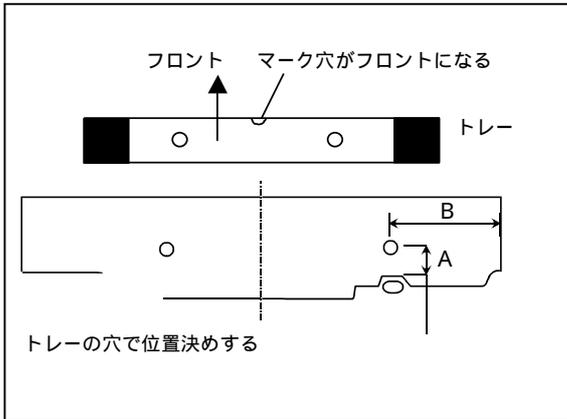
- 1) [1] - 1 2 - 2)ではずしたフューエルチューブを'カチッ'と音がするまで差し込む
- ⇒ **作業前にパイプおよびコネクターの接続部に異物の付着や傷がないことを確認する**
- ⇒ **接続後コネクターを引っ張り確実に組み付いていることを確認する**
- 2) E F I フューエルパイプクランプ No. 1 を取り付ける



[5] インタークーラーラジエター、ウォーターポンプ、ホース取り付け

1, ラジエターグリルサイドエアガイド R H はずし

- 1) ホーン 2 個をはずす
- 2) クリップ 3 個をはずし、ラジエターグリルサイドエアガイド R H をはずす
- 3) フロントバンパーカバー上部のボルト 4 個をはずす
- 4) レーザーレーダーセンサー (R H 側) のクランプをはずす
- 5) 外気センサー (L H 側) のコネクターをはずす



2, ラジエーター取り付け

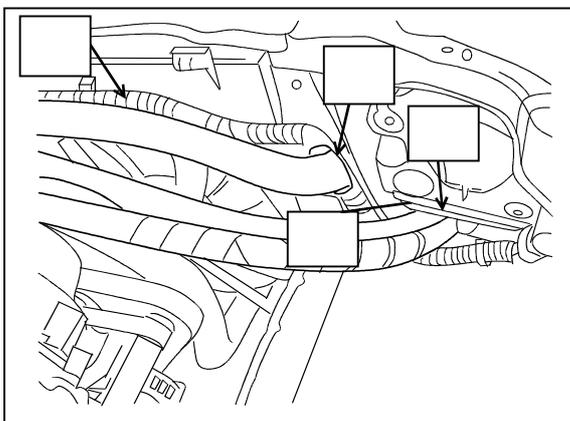
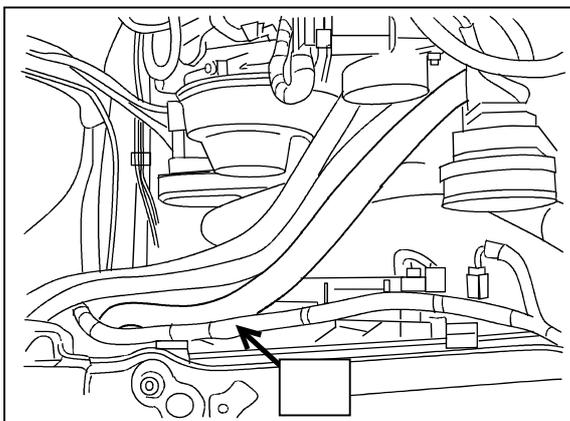
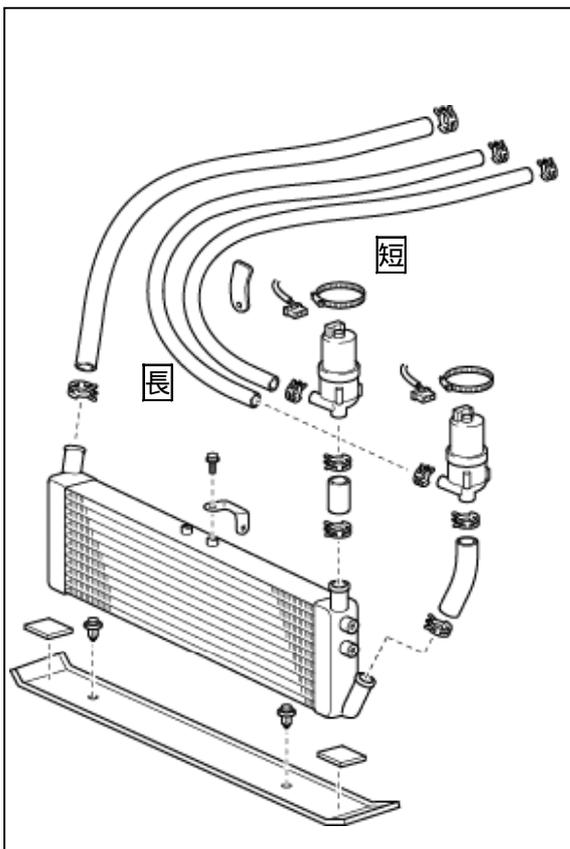
- 1) 16511 ラジエーターをラジエーター前方の図の位置（ウインドガイドロアパネル）に置き、穴位置をマークする
→穴は内側穴を使用する
→A寸法：9.5 mm
→B寸法：13.5 mm
- 2) 9 mm の穴を開ける
- 3) トレーを 16513 クリップ 2 個で取り付ける
→トレーの折りの高い方を前方にして取り付ける

3, ウォーターポンプ取り付け

- 1) 16290 ウォーターポンプに 16551 / 16552 ホースおよび 16573 インレットホースバンドを取り付ける（構成部品図参照）
- 2) 16291 ウォーターポンプステーを BC615 ボルト 2 本でラジエーターに取り付ける
⇒ **締付けトルク 8N.m(82Kgf.cm)**
→ステーの方向に注意する（左下図参照）
- 3) ウォーターポンプを 16292 ウォーターポンプクランプバンドでステーに取り付ける
⇒ **バンドとハーネスやホースが干渉しないこと**
→ウォーターポンプについているラバーバンドの位置をクランプバンドの位置にあわせる
→外気センサーハーネスを左図の位置を通す
→ウォーターポンプアウトレットはラジエーターと平行に取り付ける
→ウォーターポンプの突起とステーの穴を合わせる

4, ラジエーター取り付け

- 1) 16512 インタークーラーラジエーターステーを BC615 ボルトでラジエーターに取り付ける
⇒ **締付けトルク 8N.m(82Kgf.cm)**
- 2) ラジエーターをトレーの上にのせ、16512 ステーをセンターブレースに BC615 ボルトと WP613 ワッシャー、NL68A ナットで取り付ける
⇒ **締付けトルク 10N.m(102Kgf.cm)**



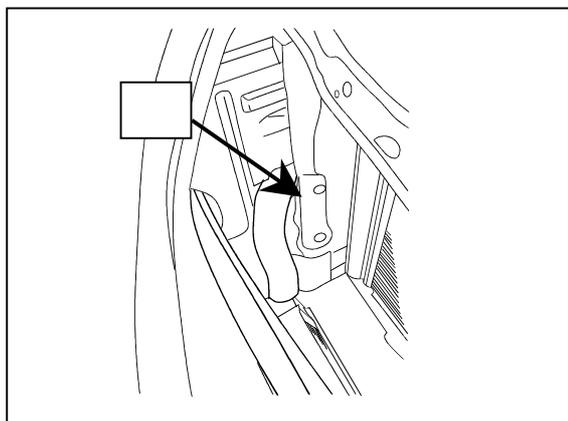
5, インタークーラーホース取り付け

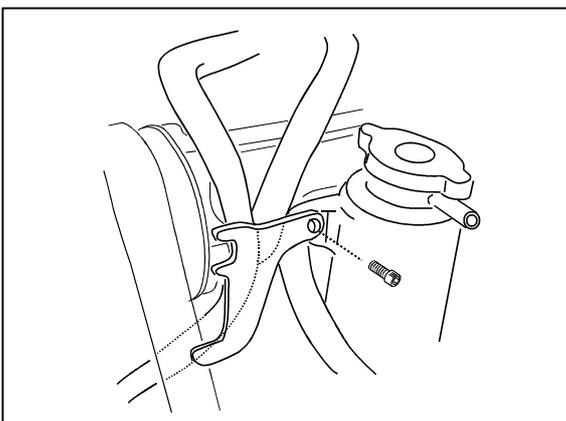
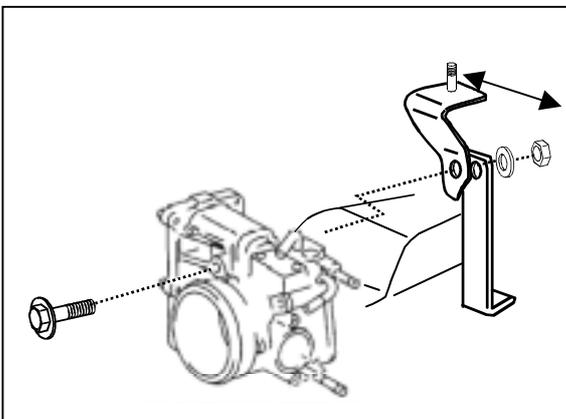
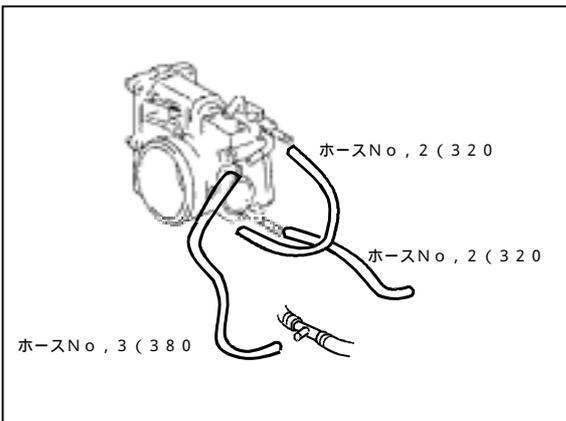
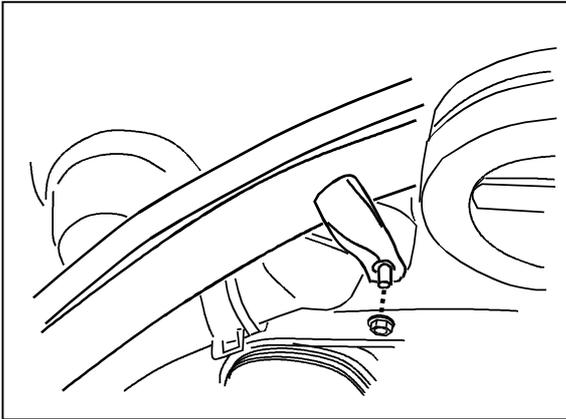
- 1) 16554 インタークーラーアウトレットホース (太い成型ホース) を配管する
→エンジンルーム側からラジエーターサポート RHの左下図 の穴を通し、インタークーラー用ラジエーターの RH パイプに差し込む
- 2) 16572 ホースバンドでホースをコンプレッサーのリザーブタンク下部に取り付ける
- 3) 16572 ホースバンドでホースをラジエーター側に取り付ける
→左下図 矢印のワイヤーハーネスのクランプをはずし、ハーネスのあった位置にホースを取り付ける

⇒ ファンシュラウドの突起部などがホースに当たらないように配管する

- 4) 16553 インタークーラーインレットホース (細いホース) を配管する
→エンジンルーム側からヘッドライト RHのすきま(左下図)を通し、バンパーリーンホースメントの上をはわす
→長さ1840 mmと1700 mm を図のように配管する(長/短を参照)
- 5) 16572ホースバンドでホースをコンプレッサーに取り付ける
- 6) ホースバンド 16572 でホースをウォーターポンプ2個に取り付ける
- 7) ボディとの接触部に 16519 プロテクターモールをボディ側に取り付ける(図 図)

⇒ バンドは止めずにおく(エア抜きの際ホースをあけるため)





6. ホースガイド取り付け

- 1) 16561 インタークーラーホースガイドをサーモスタットケースボルトに共締めする
- ⇒ **締付けトルク 19N.m(194Kgf.cm)**
- ⇒ **ボディおよび部品と無理な接触がないこと**
- ⇒ **Vベルトとの干渉がないこと**
- 2) 16571 ラジエターアッパーホースを取り付ける (バンドは再使用する)
- ⇒ **Vベルトとのすきまを 10 mm 以上確保する (ない場合はホースの回転方向を変えてみると良い)**

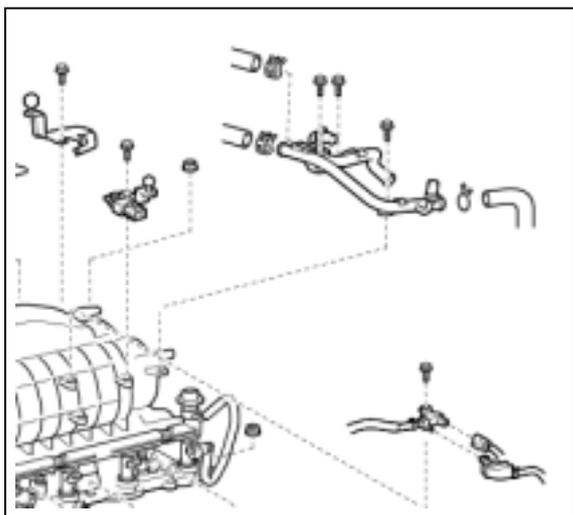
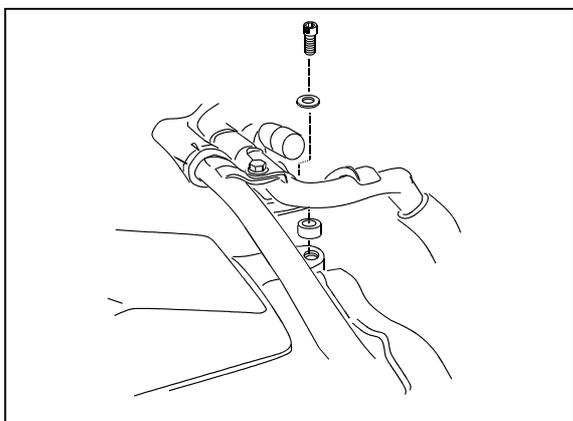
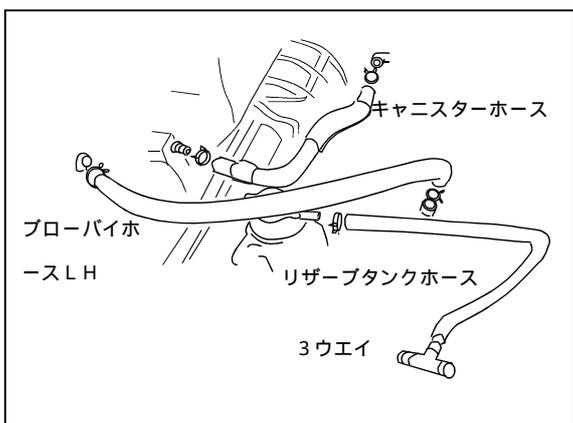
[6] スロットルバルブ取り付け

1. スロットルバルブ A S S Y 取り付け

- 1) 取り付け前に、スロットルバルブ下側ウォーターバイパスパイプ 2 個所に 16262 バイパスホース No. 2 (320mm) 2 本を取付けておく
→スロットルバルブ取り付け後は作業性が悪い
- 2) はずしたボルト 2 本、ナット 1 個と、BH885 ボルトと WP816 ワッシャーでスロットルバルブをコンプレッサーに取り付ける
- ⇒ **締付けトルク 18N-m(184Kgf.cm)**
→ガスケットは新品を使用する 22271-50042
- 3) BH885 ボルトには 11215 エンジンカバーブラケットと 88116 ワイヤーハーネスブラケットを NL88D ナットと WR816 スプリングワッシャーで後ろ側に共締めする
→エンジンカバー取り付けのスペンを 290mm になるように位置を調整する
- ⇒ **締付けトルク 18N-m(184Kgf.cm)**
- 4) 16261 / 16262 / 16263 ウォーターバイパスホースを取り付ける (バンドは純正を再使用)
- 5) コンプレッサー本体のウォーターリザーブタンクのフロント側ボルトをはずし、16555 ウォーターバイパスガイドを共締めする
- ⇒ **締付けトルク 8N.m(82Kgf.cm)**
- ⇒ **Vベルトとの干渉がないこと (ベルトとウォーターバイパスホース、アッパーホースのすきまが 10mm 異常あること)**

[7] エアクリナーケース取り付け

- 1) エアクリナーボックス A S S Y を取り付ける
- 2) 17875 エアインレットホースを標準のバンドを使用して取り付ける
- 3) 16605 メクラプラグ PST アイドル用を 6 のパイプに取り付ける



[8] ホース取り付け

1, ブローパイプ取り付け

- 1) 純正ブローパイプ RH を図の矢印部 (長い方) を 40 mm ようにカットする (プロテクターを 10 mm カットする)
- 2) 12261 ホースと 12663 パイプを 12664 バンドで純正ブローパイプ RH 及び、17875 エアインレットホースに取り付ける
→ カットした側をエンジン側に取り付ける
- 3) 純正バンドを再使用して、16263 ブローパイプ LH をスロットルボディおよびヘッドカバー LH に取り付け

2, リザーブタンクホース取り付け

- 1) 16556 リザーブタンクホースを、16557 バンドを使用して、ヘッダータンクに取り付ける
- 2) リザーブタンクホースの反対側に 16558 スリウエイを、16557 バンドを使用して取り付け
- 3) 純正リザーブタンクのホースを中間付近でカットし 16557 バンドを使用して 3 ウエイをつなぐ

3, キャニスターホース取り付け

- 1) 純正キャニスターホースを純正バンドでコンプレッサーのユニオンおよびキャニスターバルブに取り付ける
- ⇒ **パイプ抜け止めの 2 段目を超えるまでホースを差し込む。バンドは 2 段目より奥で止める**

4, ヒーターホース取り付け

- 1) ヒーターホースを復元する
 - 2) ブラケットを BH625 ボルト WP613 ワッシャーおよび 13731 カラーを使用してコンプレッサーに取り付ける
- ⇒ **締付けトルク 8N.m(82Kgf.cm)**

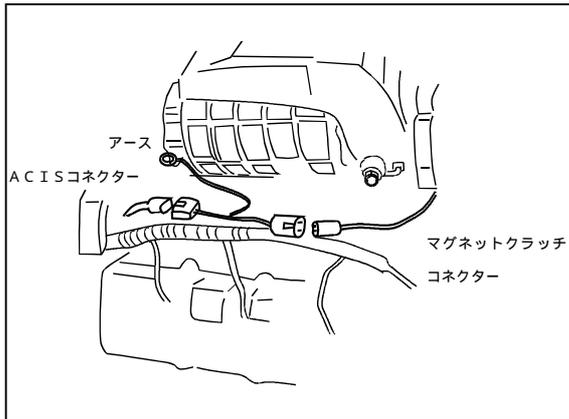
5, Vバンクカバーブラケット取り付け

- 1) Vバンクカバーブラケット R / L を純正ボルトを使用して取り付け
- ⇒ **締付けトルク 8N.m(82Kgf.cm)**

[9] ハーネス取り付け

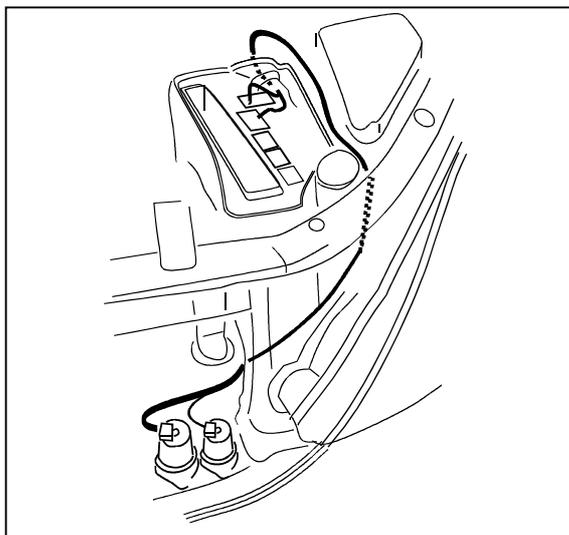
1, マグネットクラッチハーネス取り付け

- 1) 82217 マグネットクラッチハーネスをACISコネクターとマグネットクラッチコネクターに取り付ける
- 2) アースを純正エンジンカバーブラケットリヤRHと共締めする
→余ったハーネスはベルトなどに接触しないようテーピングする



2, ウォーターポンプハーネス取り付け

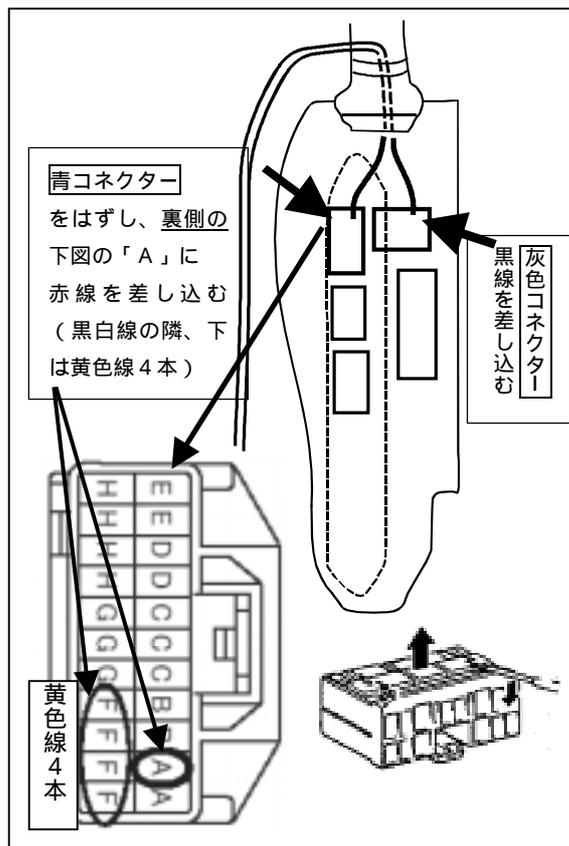
- 1) クリップ3個をはずし、ラジエターグリルサイドエアガイドLHをはずす
- 2) ポンプ2個にハーネスを取り付ける
- 3) ヘッドランプ横のすき間からハーネスをエンジンルーム内へ引き込む
- 4) エンジンコントロールECUのボックスカバーをはずす
- 5) ダストブーツに小穴を開け、ウォーターポンプハーネスのワイヤー2本をECUボックス内に引き込む



6) ターミナルを図の位置に差し込む

- 青コネクターをはずし、裏側コネクターの図の位置に赤リード線の1本を取り付ける(黒白色線のとなり)
- もう1本の赤リード線を図の「F」の空いた個所に取り付ける(表側・裏側も含む)
- 黒リード線を灰色コネクターの図の位置に取り付ける(空いているターミナル)
- コネクターのロックを解除してから差し込む

7) カットした保護チューブの個所に防水テープなどを巻く



3, ラジエターグリルサイドエアガイドRH取り付け

- 1) 型紙をコピーしラジエターグリルサイドエアガイドRHに貼り付けカットする
- 2) クリップ3個でラジエターグリルサイドエアガイドRHを取り付ける

4, 純正ハーネス復元

- 1) インジェクターハーネスその他はずしたハーネスを取り付ける
- 2) 各ハーネスブラケットをコンプレッサーのステータに取り付ける

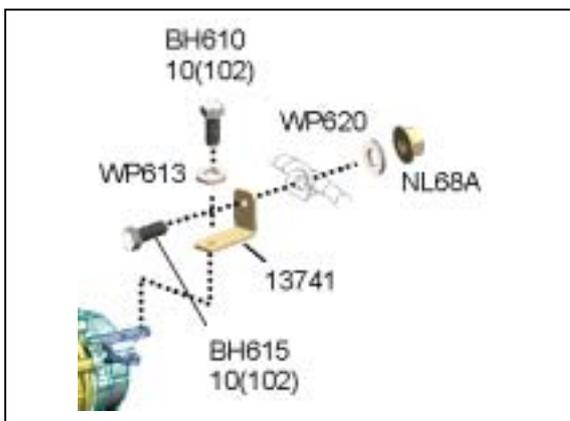
⇒ **締付けトルク 8N.m(82Kgf.cm)**

- 3) 13741ハーネスブラケットNo. 3をBH610ボルト WP613 ワッシャーでコンプレッサーの図の位置に取り付ける

⇒ **締付けトルク 10N.m(102Kgf.cm)**

- 4) バッテリープラスハーネスのブラケットを 13741ハーネスブラケットにBH615ボルトWP620ワッシャーNL68Aナットで取り付ける

⇒ **締付けトルク 10N.m(102Kgf.cm)**



[1 0] エンジンカバーブラケットLH取り付け

- 1) (48)エンジンカバーブラケットLHをコンプレッサーの図のステータボルトをはずし共締めする

⇒ **締付けトルク 8N.m(82Kgf.cm)**

[1 1] エンジンECU取り付け

- 1) TEC を取り付ける

[1 2] インタークーラーウォーター注入

- 1) ヘッダータンクから冷却水(LLC50%)を入れる

- 2) ウォーターポンプ側のアウトレットホースの上側を少しはずしてエアを抜きホースを戻す

⇒ **冷却水が出てきてエアがない状態まで冷却水を流す**

⇒ **ポンプ2個ともエア抜きする(片側ずつエア抜きすること)**

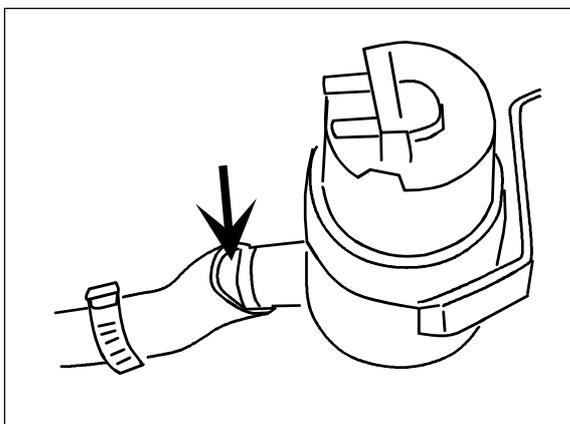
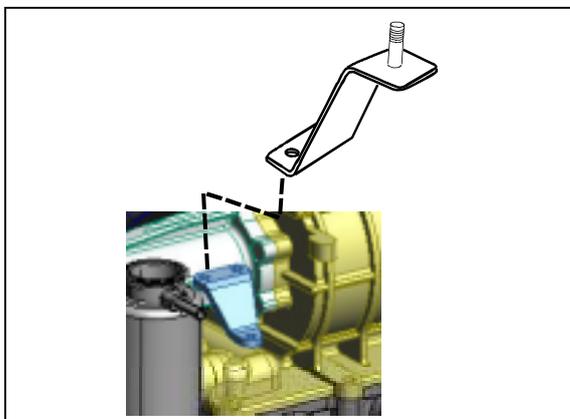
⇒ **この位置にエアが残るとポンプの「カラ打ち」が発生し、ポンプが異音の発生やヒートしたり水が回らない場合があるため十分エアを抜く**

- 3) イグニッションをONにして、ウォーターポンプが回転していることを確認する

⇒ **音および感触で確認する**

- 4) ウォーターポンプのコネクターを片側ずつ取り付け、それぞれでエア抜きをする

⇒ **ヘッダータンクの泡が完全になくなるまで片側**



ずっとエア抜きをする

- ⇒ **タンクの冷却水が動いていることを確認する**
- 5) ヘッダータンクいっぱいまで補充する
- ⇒ **キャップテスターを使用して冷却水の漏れを点検する（満水にした状態で 137kPa (1.4 kg/cm²) の圧力をかける）**

[13] 冷却水注入

- 1) エンジン冷却水を入れ、エア抜きをする

[14] 燃料コーションラベル・ベルトコーションラベル貼り付け

- 1) 燃料コーションラベルをフューエルフィルターオープニンググリッド（給油口リッド裏面）に貼り付ける
- ⇒ **レギュラーガソリンを入れた場合はエンジンが破損する可能性が高いため、必ず貼り付けること**
- 2) ベルトコーションラベルを純正ベルトラベルの上に貼り付ける

[15] 各部確認

- 1) エンジンを始動して、アイドルリングし、ベルトの干渉などがいないか確認する
- ⇒ **特にエンジン始動時や、レーシング時にベルトの干渉がないか確認する**
- 2) アイドルリングが安定しない場合は、エンジン ECU の学習値が安定するまで、アイドル放置および走行する
- 3) コンプレッサーの過給は走行時の音（約 2000rpm ぐらいからキーン音）で確認する
 - レーシングで過給はしない
 - 冷間時は過給しない
- 4) 走行後ガソリン、冷却水の漏れ等を点検する

TOM'S

【発売元】株式会社 トムス
東京都世田谷区等々力6 - 13 - 10
TEL 03 - 3704 - 6191

Ver, 2.1 2007/07/24 発行